

目 次

提言の要約	1
1 はじめに	2
2 社会情勢、現状 ・人口減少 ・市民ニーズの多様化 ・財源不足 ・市町村合併	2
3 地方都市の抱える課題（モデル都市による検証） （1）対象施設の有効活用の定義 （2）モデル都市の条件設定 （3）財政状況（一般会計決算） （4）保有する公共施設 （5）保有施設の保全管理費用 （6）課題点	3
4 今後の公共施設のあり方 〔施策1〕 新たな組織づくり （1）今までの施設管理体制 （2）施設管理体制の見直しのポイント （3）これからの施設管理体制 〔施策2〕 施設配置の検証 （1）既存施設の必要性の検証 （2）方向性の決定 （3）市民との合意形成 〔施策3〕 今後の整備手法及び運営手法のあり方 （1）新たな整備手法の提案 （2）今後の整備・運営手法のあり方 〔施策4〕 施設移転等による跡地の有効活用	6 6 8 9 12
5 おわりに	14

* 表紙写真左から、〔大阪府茨木市 下菌真一郎〕、〔群馬県前橋市 倉林薫〕、〔指導
教官（財）地方債協会理事長 自治大学校客員教授 高島進先生〕、〔東京都武蔵野市
後藤竜平〕、〔神奈川県藤沢市 藤原 健治〕、〔福岡県嘉麻市 小林純一〕

提言の要約

戦略的公共施設マネジメント ～新たな時代の公共施設のあり方～

[社会情勢・現状]

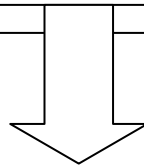
- ・人口減少
- ・市民ニーズの多様化
- ・財源不足
- ・市町村合併

[地方都市の抱える課題（モデル都市による検証）]

- ・対象施設の有効活用の定義
 - ・モデル都市の条件設定
 - ・財政状況（一般会計決算）
 - ・保有する公共施設
 - ・保有施設の保安全管理
- モデル都市の検証

[課題]

- ・市内の問題意識の共有化
- ・社会情勢にあった公共施設の配置計画（あり方）
- ・公共施設の延命化措置（計画的な保全）
- ・公共施設の更新のルール化（改修による更新、建て替え）
- ・公共施設の適正な維持管理と運営方法
- ・用途廃止による活用、運営方法
- ・市民との合意形成



[今後の公共施設のあり方]

[施策1]

新たな組織づくり

[施策2]

施設配置の検証

[施策3]

今後の整備手法
及び運営手法

[施策4]

施設移転等による跡地の有効活用